

ストライキ権を批准

更に要請行動と交渉

ゆうこう21

郵政産業労働者ユニオン
機関紙・ゆうこう21
NO・1465号
2022年3月14日(月)
安芸府中支部
発行責任者 教宣部長 杉谷 宏幸

3月9日、自動車大手で22春闘の労使協議が行われた。トヨタ自動車など、それぞれ組合側の要求に満額回答する方針を示した。16日の集中回答日前の異例の早さで決着した。さて、我が郵政は、どうする？

スト権を確立する

ユニオン組合員によるストライキ権批准一票投票の結果は、72・87%でストライキ権を批准しました。

第3回賃金交渉

本部は3月1日、第3回賃金交渉に臨み、要求の4本の柱である「大幅賃上げの根拠」「非正規社員の正社員化と均等待遇」「大幅増員と長時間労働の是正」「新型コロナウイルス感染症防止策の徹底と労働条件の改善」の主張をしました。

純利益を上回る好調な業績を上げていると強調しました。さらに、日本郵政の利益剰余金だけを見ても6兆398億円と前年同期比で、さらに1兆6938億円も積み増している。約40万人の全社員に一律2万円のパア等の引上げを実施しても単年度の負担増は概算で約1312億円あまり、十分にパアを実施できる体力があると主張しました。

要員不足の解消・大幅増員・長時間労働の是正について、22春闘アンケート結果で、「職場の不满・不安」での回答の第1位に「要員不足」を挙げていること。各職場で人手不足が深刻で、超過勤務に依存した業務運行であると強調しました。

春闘・第1波行動

3月4日、第1波行動で「郵政に働く非正規社員の均等待遇と正社員化を求め」郵政本社前行動が取り組まれ、組合員、支援の友誼団体など100名の結集で成功させました。

委員長、中執、近畿と千葉の非正規組合員が日本郵政本社の担当者に手渡しました。

要請事項は、①更新3年でアソシエイト社員、アソシエイト社員から2年で希望する社員全員を正社員へ採用(登用)すること②公正・公平な登用と登用数の拡大③最低賃金を全国どこでも1200円以上へ④夏期・冬期休暇は正社員と同様になどと、病気休暇の有給化、一時金などの諸手当や福利厚生面での格差是正などです。

その後、「郵政に働く非正規労働者の均等待遇と正社員化を求める院内集会」を開催しました。